

## 6月8日（水） 校長講話「あたりまえのことは大切」

今日は、あたりまえは大切というお話です。先生は戸倉小であたりまえを見つけました。朝、あいさつするのはあたりまえ。児童会の活動もがんばっています。清掃で、はじめの音楽でみじたくを整え、口を閉じて清掃するのがあたりまえ。給食では、手をしっかり洗って、みじたくを整えて準備するのがあたりまえ。授業中。音読するときは教科書を持つのがあたりまえ。手はまっすぐあげ、相手の目を見て話を聞くこと、姿勢よく鉛筆を正しく持って字を書くのもあたりまえ。



おうちでの勉強。学年+10分があたりまえ・・・にできているかな。

下駄箱。くつをそろえて入れるのがあたりまえになってきている人が増えています。

廊下や階段は歩くのがあたりまえですが、残念ながらできていない人もいます。

教室の移動は、2列で歩くのがあたりまえ。

かもの親子を少し離れたところで優しく見守る思いやり、あたりまえにできていましたね。

ある中学校では、

「1 あかるいあいさつ 2 無言清掃 3 全校が一つになれる歌 4 時間を守る 5 服装を整える 6 相手の立場になれる人権感覚」を「新アタリマエ憲章」として取り組んでいました。

大リーグで活躍するイチロー選手は、

「特別なことをするために、ふだんどおりのあたりまえのことは大切にする」ことを大切にしているからこそ、素晴らしいプレーができるのだそうです。

ある少年サッカーのチームでは、

「はじめに 一生懸命 ねばり強く」をあたりまえにした練習を重ね、優勝できるような強いチームになりました。

あたりまえは、いつもできるということが大事です。内容も大事です。たとえば、あいさつなら「笑顔・大きな声・目を見て」というように。やり方も大事です。みなさんは漢字練習をどうやっていますか？縦に練習するより、横に練習したほうが面倒ですが、漢字を覚えられます。やってみましょう。

このように、あたりまえにはいいことがたくさんあります。あたりまえのことがあたりまえにできる戸倉小学校にしていきたいと思います。

